

あいち農産物生産流通レポート

平成22年4月号

情報サロン		
・若者に向けて、マンガで食育を呼びかけています	(食育推進課).....	1
地域トピックス		
・「あいちのかおりうどん」「れんこんうどん」が発売された	(海部農林水産事務所).....	2
東日本情報		
・加工・業務用キャベツのニーズに関する実態調査	(東京事務所).....	3
西日本情報		
・中部圏の拠点となる「愛知名港花き地方卸売市場」がオープン	(食育推進課).....	7
フラワーページ		
・フラワードームの開催について	(園芸農産課).....	9
青果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)		10
・名古屋・東京市場における青果物の4月の見通し		11
花き		
・切花・鉢花の4月の見通し(県内市場)		23
輸出入		
・主要農産物の輸出入実績(2010年1月)		27
関連指数		28

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6417

若者に向けて、マンガで食育を呼びかけています

～「続・^{たべ}田部家の食育ものがたり きちんと、食活！」を作成しました～

愛知県では、朝食の欠食割合が高く、食生活の乱れが指摘されている高校生・大学生、20歳代・30歳代の若者世代を対象に、食育を親しみやすく啓発するため、平成19年度に発行した「田部家の食育ものがたり LET S 食育」の続編となるマンガ冊子を作成しましたので御紹介します。

1 内 容

6つのテーマについて、家族5人の日常生活を描いた6話の短編マンガとわかりやすい解説ページにより「食」に関する知識を提供し、食生活を少しずつ改善する工夫を提案します。

- テーマ1 「こつこつ準備で きちんと朝ごはん」
- テーマ2 「GOOD バランスで GOOD なカラダづくり！」
- テーマ3 「あいちを食べよう！地産地消」
- テーマ4 「もったいない！食べのこし」
- テーマ5 「感謝を込めて いただきます！」
- テーマ6 「きちんと 自分スタイル食ライフ」

マンガは、前作のキャラクター「田部（たべ）家」の家族のうち、社会人2年目の「まなぶ」と大学1年生の「ようこ」を主人公として、2人の乱れた食生活を知った祖母「ばあちゃん」があの世界から甦り、食生活を改善するアドバイスをする、というストーリーです。

また、食生活を改善するメリットや手軽に始められる改善提案などを載せた「解説ページ」を各テーマに設け、読者がより実際の行動につなげられるようにしました。



2 体 裁

A5版、22ページ、カラー刷り

3 閲覧方法等

県の食育に関する総合的な情報Webサイト「食育ネットあいち」や、携帯電話向けWEBページも掲載していますので、ぜひご覧ください。



上のQRコードからもアクセスできます

「食育ネットあいち」 <http://www.pref.aichi.jp/shokuiku/shokuikunet/>

「携帯電話向けページ」 <http://www.pref.aichi.jp/shokuiku/shokuikunet/manga-k/>

閲覧にはパケット通信料がかかります。

食活（しょっかつ）...「就活」「婚活」など若者風の略語にならい、「食育活動」「食生活」を短縮した造語です。

「あいちのかおりうどん」「れんこんうどん」が発売されました

あいち海部農業協同組合(以下「JAあいち海部」)は、平成21年6月にオリジナル商品第1弾の「あいちのかおりうどん」を、9月に第2弾の「れんこんうどん」を販売開始しました。米の消費拡大、地産地消などを目的に、「JAあいち海部」が開発を進めてきたものです。

「あいちのかおりうどん」は、地元で生産された「あいちのかおり」の米粉を100%使ったうどんです。小麦粉で作ったうどんより、もちもちとした食感と強いコシがあります。小麦グルテンを一切使っていないので、小麦アレルギーの人でも安心して食べることができるのが特徴です。また、小麦を使用していない醤油も販売しており、小麦アレルギーの人から好評を得ています。

「れんこんうどん」は、「JAあいち海部」の特産品であるレンコンと地元の小麦「イワイノダイチ」を使った手延べ・半生のうどんです。麺にはれんこんと葉が練り込まれており、薄い緑色で、コシが強く、口に入れたときにほのかなレンコンの風味が広がるのが特徴です。

「あいちのかおりうどん」は1袋(2食分入り、つゆなし)480円で、「れんこんうどん」は1袋(2食分入り、つゆなし)380円で、「JAあいち海部」のグリーンセンター津島店(津島市)、同十四山店(弥富市)、Aコープ飛島店(飛島村)の3店舗にて販売されています。また、どちらも「JA全農」のインターネットショッピングモール「JAタウン」(<http://www.ja-town.com/shop/c/c4401/>)でも販売されていますので、是非一度ご賞味ください。



あいちのかおりうどん



れんこんうどん



加工・業務用キャベツのニーズに関する実態調査

キャベツの需要はほぼ5割が加工・業務用向けに利用されています。本県産地ではB級品を15kg段ボールで出荷したり、最近ではパレテーナ（通称：鉄コン）を活用した出荷を行う事例も生まれています。今回、田原農業改良普及課の普及指導員とともに卸売市場及び加工業者に出向き、流通及び利用場面の実態調査を行いました。

1 加工・業務用キャベツの現状

ア 用途・利用

加工業者向け

産地から出荷されるキャベツは、卸売会社経由で加工業者に着き、エンドユーザーの要望に応じて一次加工される。加工業者は顧客の要望を受け、芯抜き、スライス等さまざまな形状に加工する。冷凍食品メーカー（チルド餃子など）及びチェーン展開する飲食店の調理食材（餃子の王将、とんかつ、ラーメン、ファミレスなど）、コンビニエンスストア向けのサラダ商材などが多い。

飲食業務向け

15kgケースは仲卸業者から青果商（八百屋）を経由して、個人経営の飲食店（ラーメン、鉄板焼き、居酒屋など）に流れている。

イ 仕入れ先産地

愛知県産は12～5月、群馬県産は7～10月に仕入れ、両者の端境期（6月、11月）には茨城県産または千葉県産を利用して周年利用している。

平成20年の「毒入り餃子事件」のあと、加工食品メーカーの意識が「安価調達」から「安全・安心確保」優先に変わり、国産志向に転換した。ただし、愛知県産の調達がやむを得ずできない場合は、韓国（済州島）、台湾産を使用している。

ウ 仕入れ方法

値決めによる契約取引の他、市場価格の安い時期に仕入れている。

エ 加工仕向けの形態

契約取引の多くは段ボール出荷である。加工適性から10kgレギュラーケースでは歩留まりの良い5～6玉規格が好まれる。一般に10kgケースで5～9玉、15kgケースで8～13玉の規格に限定される。



加工業者の冷蔵庫内

2 調達上の問題点（困っていること、産地への要望など）

ア 本県産の実情

愛知県ではレギュラー品を拾い取りした後、ほ場に残ったキャベツを 15kg 段ボールに詰めている。出荷品の個人差が大きく、極端な大きさの不揃い（握りこぶしサイズなど）、時には腐敗、枯れ葉や異物、虫などの混入がみられる。加工・業務向けは生食されることもあるので、量販店よりもむしろ品質管理が厳格である。

イ 他県産の状況

群馬県産は加工商品もレギュラー同様の品質管理がされている。群馬県では契約取引を価格暴落への備えのような、ある種の「保険」として認識して取り組んでいる。

ウ 問題点と課題

4月が端境期となり調達に苦労するので、4月に安定出荷できる栽培改善を求めたい（3月に仕入れた品物を業務用冷蔵倉庫などでストックしている）。

契約数量がショートすることがしばしばあり、それを見越して冷蔵庫に在庫をもっている。緊急時には赤字でも市場で臨時調達するが、産地側の欠品にペナルティーは科していない。

調査した加工業者では、材料調達の安定をめざし、千葉県内の農家グループとの協働により、5月採りの冬系キャベツ栽培にも取り組んでいる。

3 実需者（顧客）からの要望とそれに対する対応

ア 15 kgケースは抜本的に品質を見直して欲しい。

レギュラーで出荷できない下物を加工業務仕向けで 15 kgケース出荷という考え方では困る。特に、虫食いと異物混入、ムキすぎで真っ白なものは避けて欲しい。

イ 出荷量の変動を少なくして欲しい。

契約による 15 kgケースの出荷の場合、時期による出荷量の変動を極力なくして欲しい。契約販売については、他県のように産地（部会）で方針を協議して欲しい。

ウ 適正価格であること。

加工業者は、自社の利益が確保できるかどうかのラインにはシビアな目を向けている。国内産の価格動向によっては、末端顧客の理解が得られる範囲で輸入品（現在は主に韓国済州島産）を調達することになる。

ウ 日持ちがよく貯蔵が利くこと。

エ 色は濃いものが好まれる。

4 契約取引拡大のための条件

ア 契約取引のルール遵守

J Aグループや流通業者が間に入るため、農家はエンドユーザー（飲食店など）と約束を交わしたとの認識が薄い。この農家の認識不足から契約数量等の取り決めが守られなかったりすることがおきやすい。

... 群馬県(孺恋)と愛知県との決定的な違い。孺恋は加工契約用のほ場を設け、完全に履行してくれる。

イ 価格は市場売りで 65 円/kg が上限。

加工業者によれば、65 円/kg が国産キャベツで資金繰りできるぎりぎりの価格である。群馬県(孺恋)の契約単価は 50 円強であるが、加工業務用の栽培を行い、反収 8 t をあげている。このため、愛知の産地側も努力して、農家の利益確保と価格低下の両立をめざして欲しい。

5 パレテーナ出荷の現状と将来性

ア パレテーナの利用実態

調査した加工業者は、キャベツの仕入れ量は 1 週間に 20 t 程度、このうち 10 t 程度を契約のパレテーナで仕入れている。

ある卸売会社では、パレテーナ品の契約単価は 59 円/kg。このうち 1.5 円をパレテーナ管理費という名目でプールし、新しい



キャベツの芯抜き、1 / 4 カット作業

パレテーナの購入費用（ 1 基 28,000 円程度）に充てている。

イ パレテーナの有利性

実需側でも箱の積み降ろし、開封、空き箱を処分する労力や経費がかからない、鮮度が良く段ボール品より日持ちする、レギュラー品より价格的に安価である、ことから期待が大きい。

ウ 実需者（顧客）からの要望とそれに対する対応

パレテーナは量目を確実に確保して欲しい（最も重要）。

着荷の時点で、1 車（10 t トラック）当たり 11,000kg を超えていること（あくまでも業者談）。規定重量を下回ると輸送等のコストが相対的にアップする。輸送中の目減り分を考慮した出荷を望みたい。

歩留まりの向上（ロスの低減）。

重みがあり、固く巻き、芯が小さいキャベツが求められる。今後、芯の小さい品種を探して欲しい。

エ パレテーナ出荷拡大のための条件

パレテーナ出荷は加工を意識した生産方式であり、品質が安定しているため、パレテーナ出荷の契約数量の拡大を望んでいる。1 日に加工するキャベツ数量は

ほぼ決まっているので、そこへ優先的にパレテーナ出荷を持ち込むことが可能である。

期間を通じた安定出荷（契約内容の履行）。

契約履行され、信用できる産地ならば受入を増やしていきたい。

確実に重量を確保する

産地の出荷時と工場到着時で 10%程度の減量は珍しくないとしている。

このため、例えば 300kg の重量契約ならば、ほ場では 330kg 入れて欲しい。

オ パレテーナの制約要件と段ボール（DB）取引の必要性

パレテーナでの受入可能な業者は限られる。

取引単位が 10tトラック1車となるため、作業場の手狭な小口業者、料理店などでは受け容れが難しい。

同じ契約単価ならハンドリングの良いDBの引き合いが強い。

パレテーナ出荷が農家の省力化とコスト低減につながることは加工業者もわかっているため、それなりに価格を下げたい。

冷蔵庫でのキャベツのストックにDBは便利

日々の加工使用での微調整のために、DBはある程度必要である。

6 農協、指導機関への要望

ア 農家も納得ずくの加工契約取引となるよう、JAや指導機関も配慮して欲しい。できれば、加工用としてほ場を選定し、加工に適した栽培方法で生産すべきである。

この点で、てつコン倶楽部（JA 愛知みなみ）による加工向け生産&パレテーナ出荷は意識的な取り組みであり高く評価している。

イ 農家側は加工契約のメリットを正しく認識して欲しい。農家にとって経営収支が事前に予測でき、計画が立てられる。

7 まとめ

冬場の加工・業務用の冬系キャベツの調達先は圧倒的に愛知県産である。真冬でも日照量が豊富で降雪がなく品質がよい。しかし、冬に愛知県から調達できない業務筋などは年間供給をめざして、気候の温暖な九州で農家をグループ化し、産地育成を行っている。この動きが今後加速し、品質の良い九州産キャベツが市場外流通として加工業務用で取引されれば、本県産キャベツの業務需要は縮小しかねない。反対に量販店中心の市場販売となれば、ロット増大により市場価格の低迷という構造的な負の連鎖が起こらないとも限らない。これらのことから、本県でも腰をすえて戦略的に加工契約取引の拡大に取り組むべき時期に来ている。

中部圏の拠点となる「愛知名港花き地方卸売市場」がオープン

平成 22 年 3 月 31 日に愛知名港花き地方卸売市場（以下「新市場」という。）が、名古屋市港区船見町にオープンしました。

新市場は、「第 8 次愛知県卸売市場整備計画」に即して名古屋市中区松原地区において営業を行っている花き卸売市場が移転したもので、中央卸売市場と同等の機能を持つ中核市場としての役割が期待されています。日本一の花き生産額を誇る本県に、切花は今回の新市場、鉢物は全国トップの愛知豊明花き地方卸売市場と、切花・鉢物の中核市場が揃うことになりました。

新市場の開設者は「愛知名港花き卸売事業協同組合」、入場卸売会社は、松原地区の地方卸売市場大手 5 社が新たに設立した「株式会社名港フラワブリッジ」です。市場内には、松原地区の仲卸業者や資材業者も入場しており、ワンストップショッピングが可能です。



愛知名港花き地方卸売市場

中部圏の拠点市場を目指しています。

新市場は、伊勢湾岸道潮見インター及び東海インターから約 2km、現在建設中の名古屋高速 4 号線の船見インターに隣接し交通アクセスに優れています。今後、高速道路網を利用した市場間連携を強化し、中部圏の拠点市場としての

役割を担います。また、「商流・物流・情報」を三位一体とし、高度化されたハブ機能を持つ市場を目指しています。

鮮度にこだわります。

卸売場・仲卸売場における全館空調の導入や輸送容器にリサイクル可能な「E L F バケット」の活用を推進しており、環境にも配慮しながら鮮度の保持に努めています。市場からの配送についても空調設備のついたトラックでの配送が可能であり、産地から市場、小売店までのコールドチェーンを確立しており、新市場はとにかく鮮度にこだわっています。

販売方法も多彩です。

セリはセリ上げ方式を取り入れた価格入力による機械セリで、公正かつ公平な取引を行い、産地にも買受人にも受け入れられるセリを目指しています。

さらに、平成 22 年夏からは、自宅からも参加できる在宅セリ（ライブオ - クション）の運用が開始され、市場に来なくてもセリに参加できるようになります。

また、相対取引においては、従来からの電話、F A X に加えて、パソコンや携帯電話による W E B 購入、W E B 注文も可能になっており、多彩な販売形態を備えています。

The screenshot shows a large blue screen for a mechanical auction. At the top left, there is a red 'A' logo and a green 'セリ' (Seiri) button. The top right shows a guide price of 100 yen per lot. The main display area shows the product name '新潟県 滝沢種苗にいがた HB 百合 カサブランカ 秀 2L おすすめ' and a lot number '15729'. Below this, there are several rows of product information with corresponding bid counts. A table below the main display shows the following data:

Lot No.	Product Name	Color	Quantity	Count
15734	明電花園	ロジーナブルー	30入	10口
A	80cm			
15734	明電花園	ロジーナブルー	30入	10口
A	80cm			

機械セリ大型スクリーンの表示内容

場内物流も最先端です。

花きの入庫・仕分・出庫については、一体化した自動搬送設備を導入することにより、場内物流の迅速化、人的ミスを軽減しています。また搬送設備は、横箱ダンボール、鉢物トレイ等にも対応が可能な最先端の設備です。

フラワードームの開催について

フラワードーム 2010 あいち花フェスタ・名古屋国際蘭展 を開催しました

あいちの春を彩る恒例のフラワードーム 2010 が 3 月 12 日 (金) から 17 日 (水) にナゴヤドームで開催されました。昨年に引き続き「環境緑花」をテーマに、暮らしに花や緑を取り入れるヒントがあふれる会場となりました。特に、今年は C O P 10 (生物多様性条約締結国会議) が愛知県で 10 月に開催されることを記念したテーマの催しなども行われ、会期中 12 万人の来場者がありました。



フラワードーム2010全景

特別展示

大発見！ 秘境の蘭 コバチー (種の多様性)

2002 年にペルーで初めて発見され「100 年に 1 度の大発見」といわれるほどの美しさをもつコバチーを展示。

オーストラリアの自然遺産 南半球のワイルドフラワー (生態系の多様性)

8 割が固有種といわれるオーストラリアの珍しいワイルドフラワーをディスプレイ展示。

幸せいっぱい！ 多葉性クローバー (遺伝子の多様性)

1 つ葉から 7 つ葉のクローバーまで、「幸福」「金運」「名声」など葉に隠された意味とともに展示。

ナチュラルガーデン～暮らしをうるおす花と緑～

ベランダガーデンやキッチンガーデンなど暮らしの中のさまざまな場面を想定したガーデンが展示。

生物多様性と絶滅危惧植物

環境省レッドデータに掲載される絶滅危惧植物の分布した日本地図ジオラマとともに、絶滅危惧種を展示。



絶滅危惧植物展示と
オーストラリアの自然遺産展示

コンテスト

ディスプレイ (32 点)、フラワー (752 点)、テーブルコーディネート (40 点)、フラワーデザイン (101 点)、ハンギングバスケット (107 点) など多彩なコンテストが行われました。



ディスプレイコンテスト

ステージ・企画

ステージイベント

ローズアドバイザー大野耕生さんらのバラ四銃士トークショー、NHK「趣味の園芸」で有名な藤田智治さんや柳生真吾さんらによる野菜や花づくりの講演、COP10 クイズ大会、愛知の鉢物生産者による「愛知の鉢物」PR ステージなど多彩なステージが行われました。

あいち産花き等の PR

14 日ホワイトデーでは、愛知のカーネーション生産者提供による男性限定のカーネーション花束を配布し「フラワードームでフラワーウォーク」企画や、愛知のいちご配布など、愛知県産の農産物 PR を行いました。また、フラワーコンテスト会場では、花の専門学校生によるバラやキクのフラワーアレンジ展示、即売コーナーでは、愛知の切花や鉢物の即売など PR を行いました。



愛知の鉢物生産者による
PR ステージ

愛知産青果物の動向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

名古屋市中央卸売市場（品目：チンゲンサイ）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
21年実績	119	65 (97%)	262	289	静岡 (45%)
22年見通し	110	-	250	-	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>大規模ハウスによる周年栽培がされており計画的な入荷がある。年明けから2月にかけての天候不順と冷え込みで生育が遅れていたが、気温上昇と日照時間の増加に伴い生育は進み、順調な入荷が見込まれる。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>			<p>景気の影響から外食等業務需要低迷していることから、一般向け需要を高めるため「中華」以外の新しい食べ方・調理法を普及する取組みが必要。 春先の気温上昇に伴い、しおれ、葉の変色等品質劣化が起こりやすいため、適時出荷と品質管理をお願いしたい。</p>		

東京都中央卸売市場（品目：さやえんどう）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
21年実績	248	81 (33%)	1,100	1,309	徳島 (17%) ベトナム (11%) 静岡 (11%)
22年見通し	260	-	950	-	
概 要 と 見 通 し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>愛知からの入荷が多く、徳島、ベトナムがこれに続く。愛知の生育は概ね順調である。徳島の生育も順調で中旬から入荷が多くなる見込みである。静岡の生育も概ね順調である。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>			<p>さやえんどうは、春のイメージが強い商材であり、量販店も売り込みをかけている。国産指向も強まり国内産地には追い風となっている。現状、本県産は味も良く、品質には問題がないのでより安定出荷が望まれる。今後気温の上昇による品質低下が懸念されるので、品質管理には十分努めて欲しい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の4月の見通し

名古屋市中央卸売市場

3月15日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜	17年	37,491	193	188	199	191	愛知 27%
	18年	37,885	192	181	189	208	北海道 16%
	19年	34,903	209	220	208	200	鹿児島 9%
	20年	35,108	204	198	204	208	茨城 9%
	21年	37,118	207	222	207	194	
	計	5ヵ年平均	36,501	201	-	-	-
	22年見通し	35,100	216	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>地元愛知と、土ものを中心に北海道、鹿児島から入荷する。昨年台風や年明けの天候不順から生育が遅れ気味で入荷が不安定な品目が一部あるだが、気温の上昇に伴い回復する見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>							
だい	17年	2,474	101	114	111	83	愛知 63%
	18年	2,323	106	119	111	90	千葉 26%
	19年	2,054	85	82	89	85	茨城 4%
	20年	2,390	80	80	88	73	長崎 3%
	21年	2,120	102	122	100	87	
	計	5ヵ年平均	2,272	95	104	100	83
	22年見通し	2,100	100	110	100	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>産地は愛知、千葉中心。は種期の天候不順で出荷は不安定になる見込み。各産地とも作付面積は減少傾向だが、消費も弱まっており、単価の上昇は見込めない。 入荷量、価格とも前年並みとなる見込み。</p>							
に	17年	2,750	179	194	193	157	徳島 90%
	18年	2,089	193	154	230	196	熊本 4%
	19年	2,223	120	103	112	150	愛知 3%
	20年	2,350	209	209	236	187	鹿児島 1%
	21年	2,172	140	133	145	141	
	計	5ヵ年平均	2,317	169	161	184	166
	22年見通し	2,200	150	150	150	150	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>産地は徳島中心に切り替わる。徳島は11月下旬に雨が強く定植が12月にずれ込んだ地域があるため、今月から本格的出荷となる見込み。 入荷量は前年並みで、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

3月23日 現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	17年	136,583	221	229	219	216	千葉 16%
	18年	126,162	236	227	239	243	茨城 15%
	19年	126,043	219	221	214	223	北海道 9%
	20年	134,636	229	233	227	228	神奈川 7%
	21年	133,230	233	251	227	224	(愛知産比率 4%)
	5カ年平均	131,331	228	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	131,500	230	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
前月に続き関東産地からの入荷が中心となる。北海道からの土物類についてはほぼ終了。2～3月の天候不順の影響から生育遅れがみられる。特に果菜類では小玉で着果不良となっている。 入荷量は前年並みで、価格も前年並みの見込み。							
だいこん	17年	10,724	98	101	110	85	千葉 80%
	18年	11,226	99	107	102	85	神奈川 10%
	19年	9,209	91	79	99	96	茨城 8%
	20年	10,661	83	78	89	80	埼玉 1%
	21年	10,451	100	110	105	87	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	10,454	94	96	101	86	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	10,300	90	100	85	85	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
前月に引き続き関東産地からの入荷が中心となる。千葉は播種期の乾燥・低温で一週間程度の遅れがみられる。品質は病害の発生もなく良好である。 入荷量は前年並みで、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。							
にんじん	17年	8,008	178	190	187	163	徳島 76%
	18年	6,842	190	151	218	196	千葉 4%
	19年	7,330	124	105	120	150	静岡 4%
	20年	7,844	211	211	229	196	北海道 4%
	21年	7,745	142	137	143	147	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	7,554	169	160	179	170	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	7,800	132	135	130	130	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
徳島からの入荷が中心となる。徳島の生育は順調で豊作傾向にあり、入荷量は多かった前年並なる見込み。静岡は低温の影響でやや遅れており、下旬がピーク。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	17年	2,485	76	85	71	72	茨城 54% 愛知 16% 長野 14% 長崎 9%
	18年	2,395	95	80	91	111	
	19年	2,282	75	73	73	80	
	20年	2,367	93	102	94	83	
	21年	2,190	116	144	102	101	
さい	5カ年平均	2,344	91	96	86	89	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	2,100	90	100	90	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は茨城中心で、他に愛知、長野、長崎。作付面積は前年と変わらず。長崎は品質低下により、切り上がりは早くなる見込み。茨城は作付面積の増加により、入荷量増す見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					<p>ほうきの数量と単価の推移。数量は5月～11月まで増加傾向にあり、12月以降は減少傾向にある。単価は5月～8月まで上昇傾向にあり、9月以降は減少傾向にある。</p>
キャベツ	17年	3,373	114	116	111	115	愛知 74% 神奈川 10% 三重 5%
	18年	3,376	110	98	99	137	
	19年	3,303	95	89	93	103	
	20年	3,695	83	87	76	87	
	21年	3,654	129	137	129	119	
べつ	5カ年平均	3,480	106	106	102	112	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	3,500	110	120	110	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知中心。冬系は秋の台風や年明けの低温、干ばつの影響で生育にばらつきがあり、数量若干減の見込み。春系も寒暖の差と日照不足で品質、量ともに不安定。 入荷量は前年をやや下回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					<p>キャベツの数量と単価の推移。数量は5月～10月まで増加傾向にあり、11月以降は減少傾向にある。単価は5月～10月まで上昇傾向にあり、11月以降は減少傾向にある。</p>
ほうれんそう	17年	391	334	344	309	349	愛知 62% 岐阜 27% 茨城 3% 長野 2%
	18年	345	380	321	382	487	
	19年	343	376	371	379	379	
	20年	304	405	464	318	448	
	21年	364	413	511	357	387	
れん	5カ年平均	349	380	400	349	407	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	340	390	370	300	420	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知中心で中旬から岐阜・飛騨産が出てくる。2月下旬から3月の多雨で、4月の作柄悪く品質落ちるため、単価は下がる見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					<p>ほうれんそうの数量と単価の推移。数量は5月～10月まで増加傾向にあり、11月以降は減少傾向にある。単価は5月～10月まで上昇傾向にあり、11月以降は減少傾向にある。</p>

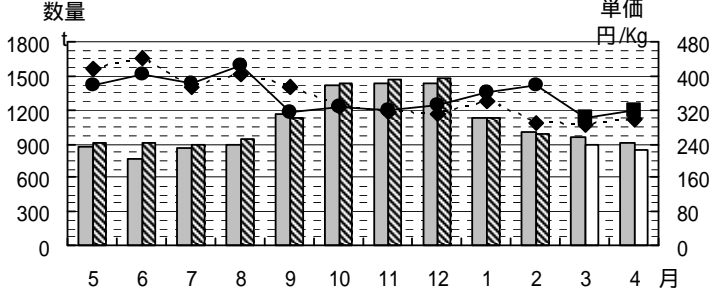
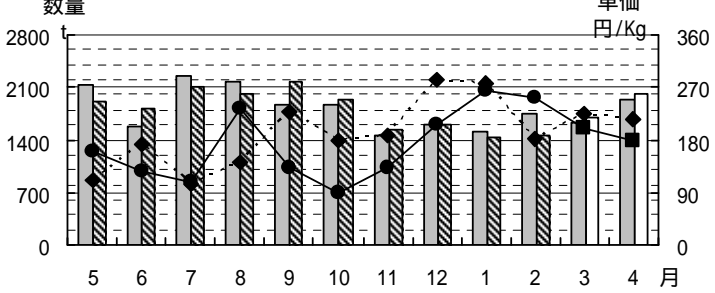
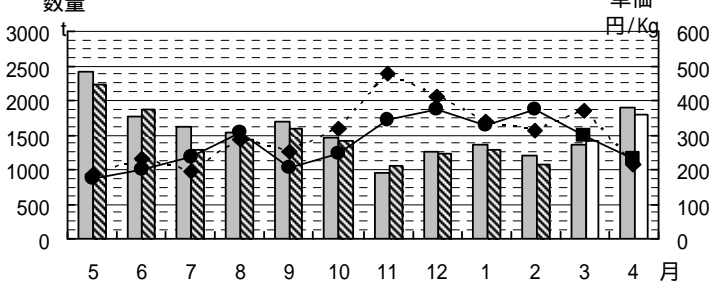
東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほう き さい	17年	6,937	62	79	58	49	茨城 95%
	18年	6,565	81	82	73	89	兵庫 2%
	19年	5,668	59	60	57	59	千葉 1%
	20年	5,718	89	106	89	71	群馬 1%
	21年	5,752	104	144	88	81	(愛知産比率 0%)
さい	5カ年平均	6,128	78	93	72	70	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	5,800	73	70	75	75	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城からの入荷が中心となる。茨城は春はくさいに切り替わる。降雨・低温で生育はやや遅れぎみであるが気温が上がると一気に生育が進む可能性が高い。 入荷量は前年並みで、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
キャ ベ ツ	17年	17,182	114	126	114	104	神奈川 47%
	18年	16,077	123	123	116	131	愛知 25%
	19年	16,071	96	100	91	98	千葉 22%
	20年	18,140	91	97	89	89	茨城 4%
	21年	18,258	122	145	117	105	(愛知産比率 25%)
ベ ツ	5カ年平均	17,146	109	118	105	105	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	18,300	110	110	115	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知からの入荷が減少し神奈川からの入荷が多くなる。神奈川は定植期の強風による苗傷みで7日程度の生育遅れが見られる。愛知の生育は概ね順調。千葉は低温により7日程度の遅れがあり、一部で病害散見される。入荷量は多かった前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
ほう れ ん そ う	17年	1,608	380	387	339	416	群馬 31%
	18年	1,408	454	413	455	498	茨城 26%
	19年	1,405	409	400	422	403	埼玉 22%
	20年	1,287	470	516	416	482	千葉 12%
	21年	1,427	424	553	360	383	(愛知産比率 0%)
れ ん そ う	5カ年平均	1,427	425	451	396	435	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	1,380	420	420	450	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地からの入荷が中心となる。群馬の生育は天候不順によりやや遅れぎみである。埼玉も寒暖の差が激しく、生育のパラツキがみられる。千葉県は概ね順調である。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並みとなる見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	17年	829	258	225	263	283	愛知 31%
	18年	758	296	270	292	322	大分 17%
	19年	806	271	253	266	298	鳥取 12%
	20年	829	409	413	411	405	静岡 9%
	21年	904	299	288	293	319	
	5ヵ年平均	825	307	290	305	325	
22年見通し	850	320	350	300	280	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は、愛知の長ねぎ、大分、鳥取、静岡の白ねぎ。冬場の低温と鳥取の降雪により春系は少なめとなる見込み。3月の気温上昇で回復傾向だが、4月は1月の天候の影響が残る。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
しそ	17年	2,017	184	190	170	190	兵庫 48%
	18年	2,105	182	160	163	223	茨城 40%
	19年	1,882	254	218	258	290	愛知 4%
	20年	1,964	172	184	165	167	長野 3%
	21年	1,937	216	291	182	188	
	5ヵ年平均	1,981	201	208	187	211	
22年見通し	2,000	180	180	160	220	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は兵庫、茨城中心で愛知の出荷も始まる。兵庫、茨城の数量は少なめだが、順調な出荷が見込まれる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
きゅうり	17年	1,976	173	191	160	171	愛知 43%
	18年	1,593	258	202	287	289	高知 20%
	19年	2,316	221	166	233	276	宮崎 14%
	20年	1,759	241	230	233	259	群馬 14%
	21年	1,909	216	271	197	190	
	5ヵ年平均	1,911	220	210	220	236	
22年見通し	1,800	230	230	230	230	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は地元愛知と高知、宮崎。3月の天候不順で出荷にばらつきが生じており、各産地とも作付面積は減少傾向。群馬、埼玉も同様の傾向。 入荷量は前年をやや下回り、価格は高かった前年をかなり上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	17年	4,377	210	199	221	209	千葉 50%
	18年	4,019	247	216	283	237	埼玉 24%
	19年	3,895	217	211	203	240	茨城 12%
	20年	4,142	366	356	387	356	栃木 5%
	21年	4,252	189	181	162	226	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	4,137	245	232	251	253	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
22年見通し		4,000	310	330	300	300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
前月に引き続き関東産地からの入荷が中心となる。千葉は秋の長雨の影響で肥大がやや悪い。埼玉は降雨の影響で生育がやや遅れ、病害の発生もみられる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。							
しそ	17年	7,822	174	180	161	181	茨城 67%
	18年	7,205	164	148	153	194	兵庫 13%
	19年	6,295	241	204	254	273	香川 7%
	20年	7,421	160	166	155	159	栃木 5%
	21年	7,388	203	263	176	176	(愛知産比率 1%)
	5カ年平均	7,226	187	192	177	194	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
22年見通し		7,200	195	220	180	180	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
茨城からの入荷が増えてくる。茨城の生育は概ね順調で肥大も良好。一部産地で菌核病が散見される。兵庫の生育も寒暖差の影響で遅れぎみであるが、4月には回復する見込み。香川の生育は回復傾向にある。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや下回る見込み。							
きゅうり	17年	7,827	196	217	180	194	埼玉 29%
	18年	6,587	281	232	328	284	群馬 22%
	19年	6,317	255	291	240	232	千葉 15%
	20年	6,673	263	246	260	283	茨城 13%
	21年	7,721	239	283	216	227	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	7,025	245	253	242	242	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
22年見通し		7,400	250	280	250	230	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
関東産地からの入荷が中心となる。埼玉、群馬の生育は日照不足の影響で軟弱徒長ぎみであり、10日ほど遅れている。千葉の生育もやや遅れぎみ。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)		
			上旬	中旬	下旬			
な す	17年	1,219	266	266	254	愛知	51%	
	18年	922	308	277	311	熊本	43%	
	19年	1,057	295	289	289	宮崎	3%	
	20年	1,139	276	279	256	高知	2%	
	21年	995	301	311	309			
	5ヵ年平均	1,066	288	288	284	293		
22年見通し	1,000	290	300	300	280	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
産地は愛知、熊本。愛知の千両は半促成もの、熊本の長なすは2L、L中心の出荷。気温上昇とともに増加するが、全体としては少なめの入荷が見込まれる。 入荷量は前年並みとなり、価格は前年をやや下回る見込み。								
ト マ ト	17年	1,404	343	365	345	326	愛知	38%
	18年	1,236	374	378	377	367	熊本	33%
	19年	1,406	352	403	342	313	三重	15%
	20年	1,403	334	349	359	303	岐阜	9%
	21年	1,211	375	373	405	353		
	5ヵ年平均	1,332	354	374	364	331	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
22年見通し	1,300	350	380	350	320			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
産地は前月に引き続き愛知、熊本、三重中心。作況は不作だった前年よりは良いが平年並み、出荷は遅れ気味だったが回復し平年並みの数量が見込まれる。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。								
ミ ニ ト マ ト	17年	314	621	645	633	598	愛知	50%
	18年	253	680	625	713	702	熊本	40%
	19年	310	595	660	579	551	和歌山	9%
	20年	302	620	657	629	587		
	21年	274	713	671	783	694		
	5ヵ年平均	291	643	652	663	622	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
22年見通し	290	640	650	650	630			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
産地は愛知、熊本中心で他に和歌山。愛知の作付面積は前年並み、熊本は若干増加。出荷は遅れ気味だったが回復し、順調な出荷を見込む。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。								

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	17年	4,561	306	319	292	300	高知 49%
	18年	3,637	342	324	344	358	福岡 32%
	19年	3,689	328	307	323	361	熊本 5%
	20年	4,063	310	310	308	313	佐賀 5%
	21年	3,733	345	362	345	331	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均	3,937	325	324	321	331	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	3,600	350	370	350	330	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>西南暖地からの入荷が中心となる。高知は日照不足影響から花落ちが目立っており、一時的に出荷量が落ち込む可能性がある。福岡の生育も日照不足の影響で着果が良くないが草勢自体は悪くない。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並みの見込み。</p>					
ト マ ト	17年	7,250	358	387	350	343	栃木 21%
	18年	5,983	396	390	400	396	熊本 17%
	19年	6,370	391	432	378	359	愛知 12%
	20年	6,794	378	413	396	337	茨城 10%
	21年	6,320	421	434	439	394	(愛知産比率 12%)
	5ヵ年平均	6,543	388	411	391	364	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	6,000	430	460	430	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>全国各産地の競合期。栃木、愛知の生育は2月の天候不順で着果不良が目立ち出荷が少ない。また全体に小玉傾向で空洞果や乱形果も多い。熊本も天候不順で収穫段では空洞果や乱形果、着果段ではやや小玉傾向にある。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	17年	1,154	572	574	578	567	熊本 37%
	18年	920	690	616	415	335	愛知 34%
	19年	1,215	564	639	544	510	千葉 18%
	20年	1,115	602	627	600	584	宮崎 15%
	21年	1,016	679	658	721	661	(愛知産比率 34%)
	5ヵ年平均	1,084	616	622	574	536	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	1,000	620	670	600	580	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に続き熊本、愛知からの入荷が中心となる。熊本、愛知の生育は天候不順で着色が遅れ気味である。 入荷量は前年並みで、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	17年	812	336	377	308	328	宮崎 39%
	18年	661	384	363	363	433	鹿児島 36%
	19年	690	340	355	334	331	高知 15%
	20年	646	365	341	346	410	
	21年	601	499	512	511	475	(愛知産比率 0%)
マ	5カ年平均	682	380	387	367	390	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	600	500	550	500	480	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は西南暖地と後半から茨城が出てくる。気温上昇とともに出荷は安定するが、産地の面積減少と、これまでの低温と日照不足で花芽が落ち不作傾向で数量減少し、高値となる見込み。 入荷量は前年並みで、価格も高かった前年並みとなる見込み。</p>					
ばいしよ	17年	2,988	189	182	163	218	鹿児島 70%
	18年	4,722	146	154	148	137	北海道 26%
	19年	4,254	133	145	136	119	長崎 3%
	20年	3,064	159	138	168	170	
	21年	3,535	152	164	155	140	(愛知産比率 0%)
い	5カ年平均	3,712	153	156	152	152	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	3,000	150	160	150	140	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は鹿児島、長崎、北海道。北海道は残量わずか。鹿児島は大島の残量と本土もので、本土ものは収穫が天候に左右されるため、出荷にばらつき出る見込み 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並みとなる見込み。</p>					
たまねぎ	17年	6,901	95	94	106	87	北海道 68%
	18年	5,670	96	100	98	89	愛知 29%
	19年	6,678	69	75	67	64	熊本 1%
	20年	5,878	73	77	74	68	静岡 1%
	21年	6,781	78	87	81	69	
ね	5カ年平均	6,381	82	86	85	75	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	6,000	130	130	130	130	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は北海道の貯蔵ものと、新玉ねぎの愛知。北海道は計画出荷で少量が続く。愛知は極早生の出始めで、数量増えてくる。生育状況は平年並み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	17年	2,690	387	409	394	367	茨城 60%
	18年	2,198	413	352	434	455	宮崎 20%
	19年	2,224	357	347	346	381	高知 13%
	20年	2,215	451	417	410	515	鹿児島 7%
	21年	2,148	513	546	534	466	(愛知産比率 -%)
マン	5カ年平均	2,295	422	413	422	434	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	2,100	480	600	450	400	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		茨城からの入荷が中心で、西南暖地がそれに続く。茨城、宮崎の生育は日照不足の影響で上旬まで小ぶりでは着果が少ない。草勢は悪くないため4月中旬以降は増える見込み。高知も中旬以降に増える予想。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。					
ばれいしょ	17年	7,973	164	135	164	189	北海道 52%
	18年	9,293	140	136	142	142	鹿児島 39%
	19年	9,251	127	129	125	128	長崎 9%
	20年	9,961	122	109	125	132	(愛知産比率 0%)
	21年	9,342	140	134	147	139	
いしょ	5カ年平均	9,164	138	128	140	145	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	8,800	150	160	160	140	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		鹿児島からの入荷が本格化し、北海道の在庫ものは終盤となる。北海道の出荷は概ね計画どおりの見込み。鹿児島の生育は植え付け時の干ばつで遅れ気味で、小玉傾向である。また一部産地で霜害が見られている。入荷量は前年やや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。					
たまねぎ	17年	12,740	111	117	122	101	佐賀 50%
	18年	11,905	105	108	108	101	北海道 43%
	19年	15,228	70	89	64	61	静岡 1%
	20年	14,174	81	88	83	73	熊本 1%
	21年	13,446	92	98	88	91	(愛知産比率 1%)
ねぎ	5カ年平均	13,499	91	99	91	84	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	14,000	110	130	110	100	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		佐賀からの入荷が本格化する。佐賀の生育は肥大がやや遅れぎみであるが、地上部の生育は旺盛であるので回復する見込み。北海道は平年並みの入荷見込みである。入荷量は前年をやや上回り、価格も前年を大幅に上回る見込み。					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	17年	14,952	298	367	283	284	フィリピン 23%
	18年	10,557	318	319	315	320	熊本 17%
	19年	10,303	363	354	376	357	青森 16%
	20年	10,734	324	330	328	314	愛知 9%
	21年	10,147	306	303	305	311	
	5カ年平均	11,339	320	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	9,600	320	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>いちご、晩柑類を中心にメロン、スイカの入荷量が増加する。りんごは輸出好調で高単価だが、みかんの豊作から柑橘類の単価は低い。景気低迷を反映して厳しい販売環境が続く。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
いちご	17年	1,781	733	904	642	675	愛知 66%
	18年	1,424	764	690	752	930	熊本 19%
	19年	1,300	789	692	852	861	鹿児島 5%
	20年	1,399	711	824	683	625	三重 5%
	21年	1,306	679	475	502	329	
	5カ年平均	1,442	735	730	684	687	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	1,300	700	750	650	700	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を中心に熊本、鹿児島、三重から入荷。上旬は端境期で一時的に入荷量減り引合い強くなるが、九州は過熟、果実の擦れが発生し品質が低下しているため、中旬以降の価格は伸び悩む。 入荷量は前年並みで、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
アンドレスメロン	17年	73	554	668	534	541	熊本 100%
	18年	72	555	715	616	516	
	19年	110	520	652	558	486	
	20年	122	520	691	537	477	
	21年	90	538	657	574	522	
	5カ年平均	93	534	675	561	504	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	90	530	650	570	500	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地はほぼ熊本。熊本ではメロン全体では作付を減らすなか、アンドレスだけが作付を増やしている。年明けの低温により小玉傾向でL玉中心、下旬に出荷のピークを迎える。 入荷量、価格とも前年並みとなる見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	17年	35,116	301	329	320	259	青森 18%
	18年	33,624	336	336	344	330	フィリピン 15%
	19年	28,555	399	389	404	404	熊本 14%
	20年	32,698	359	374	356	348	愛媛 13%
	21年	34,295	328	332	327	324	(愛知産比率 1%)
	5カ年平均	32,858	342	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	36,000	320	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
りんご、中晩柑、いちご中心に入荷する。中晩柑は貯蔵物の減酸も進み食味は良好となっている。また、すいか類とメロン類は天候不順の影響から関東もの入荷量が少ない見込み。総入荷量は少なかった前年をやや上回り、価格は前年をわずかに下回ると見込まれる。							
いちご	17年	6,247	777	946	682	718	栃木 32%
	18年	5,582	784	728	796	868	福岡 19%
	19年	4,680	797	731	832	860	佐賀 14%
	20年	5,488	780	876	746	707	茨城 13%
	21年	5,209	711	767	643	730	(愛知産比率 3%)
	5カ年平均	5,441	770	816	737	773	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	5,000	790	850	740	760	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
栃木中心に福岡、佐賀から入荷する。栃木の生育は、低温、日照不足の影響から着果不良で前年をやや下回る入荷見込み。福岡も遅れぎみで果実のパラツキがある。佐賀は株疲れで草勢が弱く、入荷量は少ない見込み。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る予想。							
アンデスメロン	17年	339	579	603	570	575	熊本 85%
	18年	343	554	627	558	531	茨城 15%
	19年	413	533	640	563	480	
	20年	334	524	676	586	454	
	21年	291	555	677	601	510	(愛知産比率 -%)
	5カ年平均	344	548	643	574	509	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	280	593	660	620	500	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
熊本中心に入荷する、下旬から茨城が加わる。冬期の低温・日照不足の影響から生育は遅れ、中下旬出荷にかけて小玉果比率が高まる見通し。後続産地の茨城も天候不順の影響で遅れている。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回ると見込まれる。							

切花・鉢花の4月の見通し

切花（地方卸売市場ヤマエ生花市場）

3月24日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪ぎ	実績	18年	2,482	54	
		19年	2,820	46	
		20年	2,430	50	
		21年	2,412	47	
	4ヶ年平均		2,536	49	
	22年見通し		2,500	47	
	概要	愛知、沖縄を中心に入荷。低温と天候不順により、不安定な入荷が続く。生育は遅れた状況が続いているため、4月に入って多めの入荷が予想される。価格は鈍い動きが予想される。			
小ぎ	実績	18年	1,559	27	
		19年	1,485	27	
		20年	1,614	23	
		21年	1,650	23	
	4ヶ年平均		1,577	25	
	22年見通し		1,650	23	
	概要	沖縄中心の入荷。彼岸前後の出荷が前進傾向であるため、4月上旬までは少なめの入荷を見込む。4月分の作付は増加傾向にあるため、安定した入荷が見込まれる。価格は出荷の集中がなければ堅調となる。			
カーネーション	実績	18年	1,489	31	
		19年	1,518	41	
		20年	1,426	37	
		21年	1,466	37	
	4ヶ年平均		1,475	37	
	22年見通し		1,470	37	
	概要	愛知、長野、和歌山を中心に入荷。冷え込みの影響から全体的に生育は遅れていたが、気温上昇とともに回復し、安定した入荷が見込まれる。価格は上旬は入学式等イベントで動きが良いが、中旬以降は弱い相場展開は予想される。			
かすみ	実績	18年	293	50	
		19年	237	83	
		20年	224	74	
		21年	217	72	
	4ヶ年平均		243	69	
	22年見通し		217	71	
	概要	高知、和歌山、熊本等から入荷。前月に引き続き冷え込みの影響で生育遅れが見られる。品種は「アルタイル」「マリーベール」中心。価格は入荷量が落ち着くので、弱めの動きが予想される。			

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	18年	314	183	
		19年	348	207	
		20年	366	168	
		21年	349	167	
		4ヶ年平均	344	181	
	22年見通し	349	167		
概要	高知、岐阜、愛知等から入荷。気温上昇とともに入荷量は増加が見込まれる。てっぼうゆり、すかしゆりは前月の遅れ分が上旬出回るが、中旬以降は安定する。オリエンタル系は上中旬に入荷量が多くなる。価格は前半軟調だが、後半持ち直す見込み。				
洋らん	実績	18年	324	86	
		19年	379	93	
		20年	390	82	
		21年	346	81	
		4ヶ年平均	360	86	
	22年見通し	346	81		
概要	愛知、徳島、岐阜、静岡のほか輸入ものも入荷。コショウラン等は気温の上昇とともに順調に入荷する、輸入ものは、アンズリウム、オンシジウムは順調だが、デンファレは雨季に入り入荷は減少。4月は上旬のイベント需要で強め、以降は弱めの動きとなる。				
ばら	実績	18年	978	69	
		19年	1,108	69	
		20年	1,118	63	
		21年	1,062	66	
		4ヶ年平均	1,067	67	
	22年見通し	1,062	66		
概要	スプレー系は和歌山、岐阜、輪ものは愛知、岐阜から入荷。今年は例年に比べて改植が増えそうなので、入荷量は少なめの見込み。価格は、上旬までは堅調な動きも、中旬以降は需要の減により弱めの動きが予想される。				
枝もの	実績	18年	1,472	40	
		19年	1,520	43	
		20年	1,450	41	
		21年	1,309	40	
		4ヶ年平均	1,438	41	
	22年見通し	1,309	39		
概要	長野、静岡、愛知、岐阜を中心に、芽吹きもの、山取りものが入荷する。上旬は入学式・入社式等のイベント需要で大ぶりの枝ものの引合いが強まり、花材も堅調な取引展開が予想される。				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
鉢花 I	実績	17年	48,980	587	
		18年	35,268	540	
		19年	33,074	545	
		20年	26,966	531	
		21年	36,572	542	
	5ヶ年平均		36,172	553	
	22年見通し		35,000	500	
概要	<p>今シーズンは、来月の母の日が早いので、今月の下旬頃から需要が活発になりそう。入荷量は一昨年の球根単価の値上げから生産量が若干減少気味であるが、昨年並みか。昨年4月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(33%)、2位長野(26%)、3位新潟(18%)となっている。</p>				
鉢花 II	実績	17年	56,917	2,443	
		18年	41,075	2,844	
		19年	57,134	2,863	
		20年	49,679	2,444	
		21年	57,869	2,312	
	5ヶ年平均		52,535	2,568	
	22年見通し		50,000	2,100	
概要	<p>入荷量は減少か。前半が大輪系、後半がミディー系を中心とした入荷となりそう。単価面は、上物ほど厳しく、輪数の少ないものと価格差がなくなりそう。昨年4月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(62%)、2位福岡(8%)、3位熊本(7%)となっている。</p>				
鉢花 III	実績	17年	113,997	245	
		18年	91,707	230	
		19年	87,258	249	
		20年	85,226	265	
		21年	117,127	254	
	5ヶ年平均		99,063	248	
	22年見通し		120,000	230	
概要	<p>入荷量は昨年より増加か。単価面は注文・予対の注文が減少予想されるので、昨年より厳しそう。昨年4月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(65%)、2位岐阜(22%)、3位三重(6%)となっている。</p>				

単位：鉢、円/鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ハイドランジア	実績	17年	85,874	628	
		18年	73,291	631	
		19年	101,922	632	
		20年	91,276	659	
		21年	182,620	620	
	5ヶ年平均	106,997	632		
	22年見通し	180,000	600		
概要	<p>入荷量は昨年並みか。ただ、昨年愛知県の主産地を襲った台風の影響が若干出るかも知れない。昨年少量であった新品种の入荷が増加し、ハイドランジア全体の底上げを期待したい。</p> <p>昨年4月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(73%)、2位群馬(8%)、3位埼玉(4%)となっている。</p>				
スパティフィラム	実績	17年	44,849	308	
		18年	39,632	344	
		19年	40,473	303	
		20年	42,136	332	
		21年	44,724	310	
	5ヶ年平均	42,363	319		
	22年見通し	35,000	250		
概要	<p>入荷量は鉢サイズを問わず生産量が減少し、特に5～6号鉢は激減しそう。単価面は昨年より厳しそうである。ただ、3～4号鉢については、若干需要が見込まれる。</p> <p>昨年4月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(34%)、2位岐阜(30%)、3位三重(28%)となっている。</p>				
カーネーション	実績	17年	142,042	335	
		18年	38,742	303	
		19年	120,102	292	
		20年	85,194	288	
		21年	143,710	350	
	5ヶ年平均	105,958	320		
	22年見通し	130,000	280		
概要	<p>今シーズンは、来月の母の日が早いので、今月の下旬頃から需要が活発になりそう。入荷量は4号鉢は生産量増加に伴い増加し、5号鉢は昨年同様となりそう。良品、値頃感がキーワードとなり、単価面は昨年より厳しそう。</p> <p>昨年4月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(36%)、2位茨城(19%)、3位福島(10%)となっている。</p>				

主要農林水産物の輸出入実績(2010年)

1 輸入実績

品名	1 月						1 月 まで の 累 計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	49,477	116.8	5,030,418	129.0	102	110.4	49,477	117	5,030,418	129	102	110.4
トマト	255	260.6	89,807	328.6	352	126.1	255	261	89,807	329	352	126.1
たまねぎ	23,655	180.1	1,033,712	211.6	44	117.5	23,655	180	1,033,712	212	44	117.5
にんにく	1,778	95.9	267,535	175.6	150	183.1	1,778	96	267,535	176	150	183.1
ねぎ	2,833	133.5	266,261	151.5	94	113.5	2,833	133	266,261	151	94	113.5
ブロッコリー	1,695	159.5	296,677	149.8	175	93.9	1,695	159	296,677	150	175	93.9
結球キャベツ	354	16.0	14,046	20.7	40	129.0	354	16	14,046	21	40	129.0
にんじん・かぶ	908	57.4	34,762	58.1	38	101.2	908	57	34,762	58	38	101.2
ごぼう	2,877	89.5	141,131	134.7	49	150.4	2,877	90	141,131	135	49	150.4
えんどう	203	283.3	52,813	333.3	260	117.7	203	283	52,813	333	260	117.7
アスパラガス	1,103	135.5	651,050	130.3	590	96.2	1,103	135	651,050	130	590	96.2
まつたけ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
しいたけ	787	142.2	195,064	159.6	248	112.2	787	142	195,064	160	248	112.2
かぼちゃ	9,097	76.1	570,257	76.6	63	100.6	9,097	76	570,257	77	63	100.6
果実(生鮮・乾燥)	117,072	83.6	11,584,214	85.7	99	102.5	117,072	84	11,584,214	86	99	102.5
バナナ	73,131	77.8	4,159,317	67.0	57	86.2	73,131	78	4,159,317	67	57	86.2
パイナップル	8,867	95.0	483,968	90.1	55	94.9	8,867	95	483,968	90	55	94.9
レモン	3,681	95.6	464,788	102.2	126	106.9	3,681	96	464,788	102	126	106.9
オレンジ	4,887	69.0	475,653	65.5	97	94.9	4,887	69	475,653	65	97	94.9
グレープフルーツ	11,308	91.8	1,240,380	101.4	110	110.4	11,308	92	1,240,380	101	110	110.4
メロン	2,892	136.2	314,887	130.4	109	95.8	2,892	136	314,887	130	109	95.8
ぶどう	175	49.4	43,640	58.9	249	119.3	175	49	43,640	59	249	119.3
キウイ	0	1.5	275	4.6	818	312.6	0	1	275	5	818	312.6
いちご	8	97.6	5,573	94.4	711	96.8	8	98	5,573	94	711	96.8
切花(生鮮・乾燥)	2,907	126.1	2,026,347	114.2	697	90.6	2,907	126	2,026,347	114	697	90.6
鳥獣肉類	120,257	87.4	50,235,166	83.1	418	95.1	120,257	87	50,235,166	83	418	95.1
牛肉(くず肉含む)	28,659	78.2	11,629,605	86.8	406	111.1	28,659	78	11,629,605	87	406	111.1
豚肉(くず肉含む)	56,528	92.1	29,582,301	92.0	523	99.9	56,528	92	29,582,301	92	523	99.9
鶏肉	29,411	94.3	5,767,850	55.3	196	58.6	29,411	94	5,767,850	55	196	58.6
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	138,942	87.9	65,129,893	85.5	469	97.3	138,942	88	65,129,893	86	469	97.3
まぐろ類	14,875	92.0	9,607,158	78.4	646	85.3	14,875	92	9,607,158	78	646	85.3
さば・さんま・あじ・いわし	15,869	57.4	2,522,759	46.2	159	80.4	15,869	57	2,522,759	46	159	80.4

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	9,518	251.9	2,719,646	274.2	286	108.9	9,518	252	2,719,646	274	286	108.9
うんしゅうみかん	143	224.4	57,794	140.1	403	62.5	143	224	57,794	140	403	62.5
りんご	9,234	256.1	2,554,686	300.9	277	117.5	9,234	256	2,554,686	301	277	117.5
なし	37	402.2	15,257	328.8	417	81.8	37	402	15,257	329	417	81.8
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	197,788	105.4	-	-	-	-	197,788	105	-	-
緑茶	171	143.3	318,576	148.9	1,860	103.9	171	143	318,576	149	1,860	103.9

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数 (全国 平成17年 = 100)				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	20年平均	101.7	104.7	102.4	106.9	105.5
	21年 9月	100.4	111.3	101.8	105.1	103.6
	10月	100.0	98.5	98.2	104.5	103.1
	11月	99.8	94.5	91.9	104.7	102.1
	12月	99.6	95.7	90.6	104.3	102.6
	22年 1月	99.4	107.8	95.0	104.4	103.1
愛 知 県	20年平均	101.7	100.9	101.6	104.8	104.0
	21年 9月	101.0	110.3	107.3	101.5	102.3
	10月	100.5	100.7	97.4	101.5	105.4
	11月	100.2	95.9	93.2	103.7	101.3
	12月	100.0	95.0	96.0	102.6	102.0
	22年 1月	99.3	96.8	94.7	102.4	99.4

項目 年月		農業物価指数 (平成17年 = 100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
全 国	20年平均	97.7	94.7	104.8	100.8	101.6
	21年 9月	96.3	99.5	103.4	78.8	98.3
	10月	90.7	96.4	81.1	89.4	98.8
	11月	90.6	97.1	82.3	91.1	97.2
	12月	92.9	97.5	93.5	83.8	98.9
	22年 1月	96.7	97.0	110.5	76.2	96.4

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)													
品目 単位 年月	うるち米 (単一品種、「コシ加」以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5 kg	1 kg										100g	1kg
20年平均	2,212	150	170	637	420	272	143	331	191	558	605	208	494
21年 9月	2,240	166	217	661	465	318	189	372	232	473	759	224	-
10月	2,232	131	154	700	295	320	128	343	205	460	623	212	-
11月	2,232	111	125	660	331	294	109	316	202	531	570	209	459
12月	2,240	102	106	563	434	305	109	268	217	608	606	209	425
22年 1月	1,995	131	121	641	501	286	130	249	232	579	561	208	367
品目 単位 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶(せん茶)	カーネーション	きく	バラ	豚肉(ロース)	牛肉(ロース)	まぐろ
	1 kg			100g	1 kg		100g	1 本			100g		
20年平均	553	346	408	150	261	669	614	163	172	328	230	824	492
21年 9月	1,038	332	408	-	239	692	609	163	170	320	220	743	477
10月	530	298	404	-	248	702	588	162	166	323	216	744	484
11月	457	310	398	-	247	738	588	159	166	329	232	752	487
12月	453	303	405	173	246	676	609	162	171	349	221	754	479
22年 1月	491	304	393	145	232	695	565	148	168	299	236	788	472

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



あいち農産物生産流通レポート 442
平成22年4月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6417